

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	通過率(%)	備考	
〔知識及び技能〕 (2)1学年ア	1	一 発表の内容を正確に聞き取っている。	知・技	91		
〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと (1)1学年ア		二 感想の特徴について、正しいものを指摘している。	思・判・表	82		
〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと (1)1学年エ		三 相手の発言の内容から、どのような質問をしたのかを考え、適切に答えている。	思・判・表	52	○	
〔知識及び技能〕 (1)1学年イ (1)2学年ウ	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔預金〕を正しく読んでいる。	知・技	49		
		(2) 文脈の中で漢字〔利己〕を正しく読んでいる。	知・技	68		
		(3) 文脈の中で漢字〔敬う〕を正しく読んでいる。	知・技	85		
	二 (1) 文脈の中で漢字〔高層〕を正しく書いている。	知・技	73			
	(2) 文脈の中で漢字〔提供〕を正しく書いている。	知・技	57			
	(3) 文脈の中で漢字〔納める〕を正しく書いている。	知・技	51			
三 (1) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字に書き改めている。	知・技	77				
(2)	知・技	20				
〔知識及び技能〕 (3)1学年ア	3	一 訓読のきまりに基づいて、適切な書き下し文を指摘している。	知・技	76		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		二 文章の展開や情景を捉えながら読み、内容を解釈し書いている。	思・判・表	43	○	
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ		三 A	文章の展開に即して内容を的確に捉え、適切な故事成語を指摘している。	知・技	58	
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ		B		知・技	73	
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)2学年イ	4	一 登場人物の言動の意味を捉え、内容を解釈し指摘している。	思・判・表	58		
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ		二 語句の意味を文脈に沿って読み取り、ふさわしいものを指摘している。	知・技	45		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年イ		三 暗示された描写を基に、登場人物の心情について文章中から捉えて書いている。	思・判・表	14		
〔知識及び技能〕 (1)2学年エ		四 類義語としてふさわしい語を指摘している。	知・技	62		
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ		五 指示する語句の内容を文脈に沿って読み取り、指摘している。	知・技	68		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年エ		六 叙述を根拠にして文章の構成や展開を捉え、登場人物の心情の変化について書いている。	思・判・表	29	○	
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ	5	一 段落相互の関係を捉え、正しい接続する語句の組合せを指摘している。	知・技	78		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ア		二 叙述を基に、事実を述べた部分を指摘している。	思・判・表	78		
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ		三 正しい単語数を指摘している。	知・技	38		
〔知識及び技能〕 (2)1学年イ		四 情報の整理の仕方について理解している。	知・技	37		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ア		五 事実と意見の関係について叙述を基に捉え、一文が入る箇所を指摘している。	思・判・表	46		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		六 必要な情報に着目し、指定された語句を用いて適切に要約している。	思・判・表	47	○	
〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと(1)1学年ウ	6	根拠を明確にしなが、自分の意見を条件に従って書いている。	思・判・表	58	○	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	61	51

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	備考	東青管内			西北管内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	発表内容の聞き取り		92	92	91	92	91	94	91	
	二	発表内容の指摘		83	84	80	80	82	78	81	
	三	質問の検討	○	56	57	39	45	39	55	46	
2	一	(1) [預金(よきん)]の読み方		49	50	37	47	49	46	45	
		(2) [利己(りこ)]の読み方		70	70	62	60	60	54	64	
		(3) [敬(うやま)う]の読み方		87	88	81	86	86	85	87	
	二	(1) [こうそう(高層)]の書き方		73	74	59	69	66	73	70	
		(2) [ていきょう(提供)]の書き方		66	66	53	49	44	62	46	
		(3) [おさ(納)める]の書き方		54	54	53	48	49	49	47	
三	(1) 誤字訂正(投→統)		78	78	78	80	83	80	76		
	(2) 誤字訂正(用→様)		20	21	17	18	18	17	19		
3	一	書き下し文の指摘		78	79	68	73	67	78	75	
	二	内容の理解	○	45	45	29	47	50	46	44	
	三	A	故事成語の指摘		54	54	41	57	61	67	46
		B	故事成語の指摘		67	67	57	76	76	80	74
4	一	言動の意味を捉えた内容の指摘		63	64	44	52	57	48	48	
	二	語句の意味の指摘		46	46	48	41	43	36	42	
	三	描写を捉えた登場人物の心情理解		15	15	13	10	10	10	9	
	四	類義語の指摘		63	63	53	65	65	65	65	
	五	指示する語句の内容の指摘		68	69	61	70	70	65	72	
	六	文章の構成や展開を捉えた登場人物の心情理解	○	25	26	18	25	23	38	17	
5	一	接続する語句の指摘		80	80	69	82	83	84	80	
	二	事実を述べた部分の指摘		78	79	75	80	77	84	80	
	三	単語数の指摘		43	43	42	36	26	45	41	
	四	情報の整理		39	40	29	38	41	36	36	
	五	意見を述べた部分の挿入箇所の指摘		48	48	48	46	50	37	47	
	六	必要な情報に着目した要約	○	47	47	38	51	46	51	56	
6	根拠を明確にした意見の記述	○	58	59	41	57	53	58	60		
教科全体				59	59	51	56	56	58	56	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
90	90	86	88	94	90	90	91	89	93	93	91	90	90	88	91
81	80	78	81	87	82	81	82	81	82	82	80	83	84	76	82
49	51	40	53	43	51	50	57	48	55	52	65	53	54	50	52
47	47	42	50	47	50	53	54	47	53	54	48	49	50	47	49
68	68	65	67	71	69	69	74	67	67	65	73	68	66	77	68
83	84	83	85	82	82	86	79	81	83	82	89	84	84	85	85
72	74	67	70	68	77	84	76	74	78	79	77	72	72	73	73
53	57	45	37	53	56	56	57	55	50	47	61	57	57	55	57
51	51	41	60	52	52	55	53	49	44	46	35	52	53	47	51
76	76	72	78	80	79	81	82	76	79	78	83	76	77	72	77
16	15	15	16	22	22	27	24	18	26	27	18	19	20	16	20
78	77	79	75	85	74	74	83	71	79	78	80	76	76	74	76
45	47	41	42	46	42	42	49	38	40	40	43	41	42	37	43
50	54	39	47	49	60	67	65	53	61	62	56	66	68	58	58
75	79	70	70	70	77	80	80	74	81	81	80	71	72	66	73
56	55	57	62	53	59	62	61	57	56	57	51	57	57	53	58
48	47	48	51	47	45	46	50	43	42	40	50	45	46	42	45
14	15	9	14	12	12	14	14	11	12	12	12	15	16	11	14
59	57	56	68	60	63	66	65	61	61	60	67	61	62	56	62
67	67	64	68	72	68	70	68	67	69	70	68	69	69	66	68
30	33	17	24	32	29	28	29	29	32	30	39	32	34	24	29
77	77	76	78	74	79	81	81	77	80	80	80	75	75	76	78
76	75	75	79	77	79	83	77	76	79	79	77	77	77	73	78
31	28	24	38	46	37	48	37	29	41	39	46	41	42	39	38
33	33	30	33	34	36	39	41	31	39	40	32	39	39	35	37
41	40	41	41	44	46	52	48	41	49	51	43	46	46	43	46
44	42	44	44	51	41	39	51	39	46	45	50	51	53	42	47
55	60	38	41	62	59	65	65	51	63	64	62	60	61	55	58
56	56	51	56	58	58	60	60	55	59	58	59	58	59	55	58

※通過率(%)は、「総正解数/総解答数」で算出した数値の少数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
1	三 52	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない(48.0) [剣道の練習時間や練習方法について質問している、時間の使い方と関係のないことについて質問している 等] 無答(12.0) 実際に話すような話型で書かれていない(8.5)
2	一(1) 49	<ul style="list-style-type: none"> 「預金」を「ちょきん」「りょうきん」等と誤っている(46.5) 無答(1.0)
	二(3) 51	<ul style="list-style-type: none"> 「納」を「取」「修」「治」「税」等と誤っている(38.0) 無答(5.0)
	三(2) 20	<ul style="list-style-type: none"> 無答(37.0) 誤字としての「用」を指摘していない(31.0) 誤字を指摘できるが、正しい漢字が書けていない(5.5)
3	二 43	<ul style="list-style-type: none"> 文章の展開を捉えた内容の解釈ができていない(23.0) [進軍の太鼓、争い、逃げた人、政治、心、愛 等] 無答(16.5) 解答用紙に合っていない(7.5) [「違いがない」がない 等]
4	二 45	<ul style="list-style-type: none"> イ(48.0) ・ウ(2.5) ・エ(2.0)
	三 14	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない(67.0) [言葉の意味だけを捉えている…ちいさなミス 等] [具体的に書いていない…せっかくのチャンス 等] [文章の内容を捉えていない…すどいボール 等] 無答(21.0)
	六 29	<ul style="list-style-type: none"> 設問の内容や意図を理解していない(47.0) [Aに入る言葉を誤っている…梅干し 等] [Bを具体的に書いていない…少しずつ変わっている 等] [文章の内容を捉えていない…同じようにぎこちない 等] 無答(13.5) 解答欄に合っていない(5.0) [「優しい気持ちに変化」こと 等]
5	三 38	<ul style="list-style-type: none"> 単語の分類を理解していない(53.5) ・無答(3.0)
	四 37	<ul style="list-style-type: none"> 正しく情報を取り出せていない(45.5) [①少し高い音、察知する音 等 ②意味、手段 等 ③声帯、把握 等] 無答(7.5)
	五 46	<ul style="list-style-type: none"> 4(22.5) ・5(13.0) ・無答(9.5) ・2(5.5) ・1(9.5)
	六 47	<ul style="list-style-type: none"> 設問の条件に沿っていない(19.0) [指定された語句を使っていない、指定された文字数に合っていない 等] 設問の内容や意図を理解していない(18.0) [文章の内容を捉えていない…光の速さよりも水中では伝わるのが速いためコミュニケーションがとりやすいから 等] 無答(17.0)
6	58	<ul style="list-style-type: none"> 【条件3】百字以上、百四十字以内で書かれていない(15.0) 【条件2】本文と挿絵を関連付けた根拠が書かれていない(10.5) 無答(5.5) 【条件1】しか満たしていない(3.0)

エ 今後の指導について

○課題の見られた問題 4三

○出題のねらい

4三は、場面の展開や登場人物の心情の変化について、描写を基に捉える問題である。出題の意図は、令和4年度の分析において、登場人物の言葉や行動が話の展開などにどのように関わっているかを考えながら内容を解釈することに課題がみられたため、全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、細部の描写に着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を捉える問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、全体の7割弱の生徒が設問の内容や意図を理解していないことが分かった。

原因として、言葉（「とっかかり」）の意味を理解していないことや、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている描写を基に捉えられないことが考えられる。

課題として、細部の描写に着目しながら、物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることができていないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めることが大切である。例えば、心情を表す言葉を取り上げてその変化をたどったり、叙述の細かな違いに注意して読み、それぞれの叙述が表している心情の違いを考えたりする学習活動を設定することが必要である

指導例

言葉を比較することで意味を類推し、心情の違いを考えさせる指導

～単元名『少年の日の思い出』に描かれていない場面を想像し、考えを交流しよう。』（7時間扱い）～

【学習指導要領における内容】

1 学年「知識及び技能」(1)

ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

1 学年「思考力、判断力、表現力等」C(1)

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。

学習活動 ・単元を通して自分が身に付ける力を確認した上で、作品を通読する。
・感想を交流し、単元を通して追究する課題を確認する。

2 作品の展開を捉えさせる。

学習活動 ・語り手の転換に注意しながら、全体を前半と後半の二つに分ける。
・時間、場所、出来事に着目しながら、後半をいくつかの場面に分け、概要を短くまとめる。

3 「僕」と「エーミール」の人物像を捉えさせる。

学習活動 ・「僕」と「エーミール」について描写されている叙述を抜き出す。
・抜き出した叙述をまとめ、人物像を捉える。
・「僕」の心情の変化を、場面の展開に沿ってまとめる。

4 最後の場面における「僕」の心情を捉えさせる。



ちょうをつぶした最後の場面について考えてみましょう。「僕」はどんな気持ちで自分の集めたちょうをつぶしてしまったのでしょうか。「僕」のいろいろな気持ちを出し合い、検討していきましょう。

学習活動① 学習の見直しをもつ。



最後の一文のところでの「僕」の気持ちをどのように考えていくとよいですか。

ちょうをつぶすところまでの物語をもう一度読み直して、ちょうをつぶしたわけを整理してみればよいと思います。



この場面は、一つ一つの行動が細かく書かれていると思います。だから、それぞれの言葉を詳しく想像していくとよいと思います。



学習活動② 個人で課題について追究する。



それでは、最後の一文の中にある言葉を抜いたり、別の言葉に置き換えたりして、ちょうをつぶした「僕」の気持ちを考えましょう。例えば「一つ一つ」に着目してみましょう。この言葉を抜いたり、「少しずつ」など別の言葉に置き換えたりして、元の文と比べてどのように変わるか考えてみてください。また、「一つ一つ」以外の言葉に着目して考えてみてもよいでしょう。

学習活動③ 全体で課題について追究する。



「一つ一つ」を抜き取って比べると、元の文はずっと大事なものを扱っている感じがして、長い間集めたちょうに別れを言っているような気がします。

僕も同感です。「一つ一つ」があることで、これまで集めてきたちょうをよく見て、別れの挨拶をしていると思いました。



それはどうでしょうか。「闇の中で」とあるから、「僕」はちょうに対して申し訳ない気持ちでいるし、見たら楽しかったことも思い出してしまうから、見ないようにしていたと思います。



ポイント

全体で課題について追究するときには、最後の一文の言葉の印象だけではなく、物語の流れも踏まえて「僕」の気持ちを考えさせる。

〈板書例〉

<p>「ばらばらに」に比べると、ちょうが細くなるまでつぶしたことが分かる。その分だけ、自分を責める思いの強さを感じる。</p>	<p>〈別の言葉に置き換えた場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「粉々に」を抜くと、ちょうの存在を完全に消し去りたい、という思いが感じられなくなる。 	<p>〈別の言葉に置き換えた場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つずつ」や「少しずつ」に比べると、ちょう集めをしている大切な思い出をかみしめている気がする。 	<p>〈別の言葉に置き換えた場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つ一つ」を抜くと、ちょうを大事に取り扱っている感じがなくなる。 	<p>〈別の言葉に置き換えた場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つ一つ」を抜くと、ちょうの一文にある言葉を抜いたり、別の言葉に置き換えたりして、元の文の意味と比べてみよう。 	<p>見直し</p> <p>そして、ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった。</p>	<p>学習問題</p> <p>「僕」はどんな気持ちで自分の集めたちょうをつぶしてしまったのだろう。</p>
---	---	---	--	---	---	---

学習活動④ 改めて自分で考えをまとめ、全体で確認する。

5 「現在」の場面の役割について考え、想像したことを書かせる。

- 学習活動**
- ・「過去」の話の打ち明けられた「私」が、「客」にどのような言葉を返すかについて、叙述を根拠として想像し、自分の考えを書く。
 - ・書いた文章を読み合い、自分の考えを広げる。

6 学習を振り返らせる。

- 学習活動** 学級での交流を通して広がったり深まったりした考えを書き、発表する。